

進化する新世代足場

ND system

ダーウィン

従来からの足場の課題である、重い・狭い・階段横が窮屈・持ちにくい・揺れる・うるさい・ゆるむ・外れる等これらの不満を解消すると共に、手すり先行工法に完全対応した、安全で組立解体がスピーディーな、新世代の緊結式足場です。

次世代足場(据置先行手摺)NDsystemの特長

より早く!



- 「オンディスク方式」の採用でクサビを持ち上げずに組めます。
- シリコンフォームの内蔵で吸音効果を持たせました。
- 「オートロック方式」の採用で支柱の接続・開放が簡単!!

より安全に!

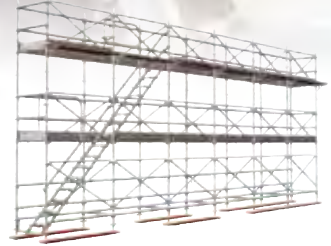


- 支柱材はφ42.7mm軽いのので安全に持ち運び。
- 手すり先行工法に対応、一層の高さは1800mmと1900mmをご用意。
- 梁間610mmでも500mm幅の鋼製布板の納まりがラクラク!
- 支柱径φ48.6のクサビ足場と同等の支柱許容荷重を確保。

より手軽に!



- 支柱材は建柱と同じφ42.7でほとんどの枠組足場の一般部材が兼用可能です。
- 部材が全て棒状なので、軽量コンパクトに梱包できます。



- 1 高さ1800mm、快適な作業空間
- 2 全ての部材が棒状で、集積力アップ
- 3 支柱外径φ42.7mm、持ち易く、何よりも最軽量
- 4 つなぎ材は組立簡単、吹き上がり対策は万全
- 5 支柱ジョイントはオートロック、ワンタッチ差し込み式
- 6 手すり先行工法に完全対応
- 7 大組・大払しに対応

NETIS登録技術活用のメリット

1 工事成績評価への加点

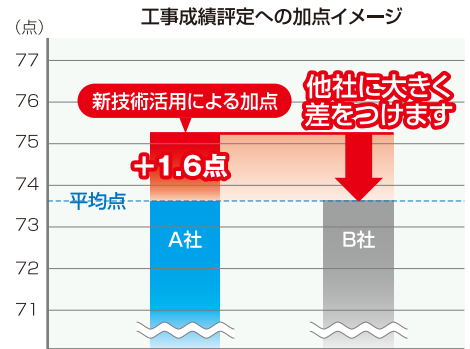
公共工事において施工者が新技術の活用を提案し(契約後提案、施工計画書、工事打ち合わせ簿による活用提案)、実際に工事で活用された場合は、工事成績評価での主任技術評価官の加点対象になります。また、使った結果が良好な場合はさらに加点されます。

●事後評価が実施された技術活用の場合 最大1.6点

- 「有用な新技術」の活用で活用効果調査表を提出 **+1.6点**
- 「有用な新技術」以外の技術の活用で活用効果調査表の総合評価が120点以上 **+1.6点**

●事後評価が実施されていない技術活用の場合 最大1.6点

- 活用効果調査表を提出 **+0.8点**
- さらに
- 発注者による活用効果調査表の総合評価が120点以上であれば **+0.8点**



2 総合評価落札方式での加点

総合評価落札方式とは、国土交通省発注の公共工事において価格以外の要素(コスト削減、整備する施設の性能・機能の向上、社会的要請への対応など)を評価対象に加えて総合的に評価する方式です。総合評価落札方式においてNETISに登録された新技術の活用を提案した場合、加点の対象になります。

$$\text{評価値} = \text{得点} / \text{価格} = (\text{基礎点} + \text{加算点}) / \text{価格}$$

評価値が最も高い企業が落札します!

NETIS登録技術を活用することで加算点がアップ!

右表のように、グラフの角度が大きい会社が評価値の高い会社となります。A社は入札価格と総合評価による得点のバランスが最も良く、C社よりも1,000万円高い入札価格にも関わらず落札することができました!

評価値 = A社: 111点、B社: 105点、C社: 100点

※配点の方法は提案を行った地方整備局などによって異なります。

